

令和2年度の重点課題

- 男子
「握力」、「20mシャトルラン」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子
「握力」、「20mシャトルラン」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 男女共通
1日の運動の実施時間が30分未満の生徒の割合が県平均、全国平均より高い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 「握力」
→ 体育の授業の導入部分で行う補強運動を充実する。ランニングの際に、一人一人に軟式のテニスボールを握らせ、ボールを握りながら走る「にぎにぎランニング」を取り入れる。
- 「20mシャトルラン」
→ 体育の授業や部活動の中で、ジグザグ追い越し走(6人組)を行う。
- 「ボール投げ」
→ 「球技」領域の授業で、毎時間キャッチボールを実施(全学年で実施)
- 校内球技大会の種目に、「遠投リレー」を追加する。クラス対抗で、ボールを合計何メートル投げることができるのかを競い合う。大会までに、クラスごとで練習することで、ボールを投げる回数が増え、投動作がしっかりと身に付くことをねらいとする。

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	30.11	26.93	48.67	52.15	79.84		7.89	201.85	22.66	45.62	第2学年	24.67	26.31	58.02	49.14	59.14		8.51	182.53	15.75	59.38

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	30.11	26.93	48.67	52.15	79.84		7.89	201.85	22.66	45.62	第2学年	24.67	26.31	58.02	49.14	59.14		8.51	182.53	15.75	59.38

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	79.31	12.07	3.45	5.17	第2学年	56.67	25.00	16.67	1.67

学校独自の意識調査

学校独自の意識調査	
-----------	--

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 「上体起こし」→毎時間の授業の中で補強運動として上体起こしを行う。
- 「反復横跳び」→ウォーミングアップや体づくり運動の中に切り返し系(敏捷性が高まる)の動きを伴う運動を取り入れる。
- 「20mシャトルラン」→毎時間の体育の授業や部活動の中で、体育館3往復、グラウンド1周のランニングを行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・休憩時間にグボールの貸し出し等を行い、ラウンドで運動することを促す。

重点課題

- 男子
令和元年度と比較し、「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」において、県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)より低い。

令和4年度の重点目標値

- 新体力テストの総合評価のAB率を60%以上、ED率を15%以下にする。
- 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合を、男子は7.0%、女子は16.0%にする。
- 「上体起こし」を県平均値以上にするために、体幹を鍛え、2回以上記録を伸ばす。
- 「反復横跳び」を県平均値以上にするために、3回以上記録を伸ばす。
- 「20mシャトルラン」を県平均値かつ全国平均値以上にする。